

第1回那覇市観光審議会で受領した意見への 対応方針

第2次那覇市観光基本計画策定支援業務委託

有限責任監査法人トーマツ

2024年8月9日

第1回観光審議会での指摘事項

第1回観光審議会（7/5）で受領した意見・質問に対して、 以下の対応方針（案）を検討しております

指摘事項（1/4）

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	追加 対応の 要否
1	取組の柱1	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策(ア)の中で空港・港や那覇港周辺の公共スペース等という表現が多く出ており、場所が限定的と感じた 那覇空港や那覇港と記載してしまうと限定的な取組となる印象である。那覇市全体で消費額向上に資する取組が必要である旨を伝えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> まずは沖縄県の玄関口ともなる空港や港にフォーカスした経緯がある。他方で、対象を限定的にすると取組範囲が絞られることが懸念されるため、「主要な交通結節点」等の表記を加えて調整を図る 	名嘉元 委員	要
2	取組の柱1	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船受入機能強化のために空港や港から市街地への移動の充実化を図る旨が記載されているが、具体的な手法はどのようなものを想定しているのか 	<ul style="list-style-type: none"> タクシーやバス等の交通事業者との連携やシェアサイクル等の様々な移動手段を想定しており、当該移動手段の強化対応を図る旨を記載する 	慶田 委員	要
3	取組の柱1	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船の受入機能に関して、市街地への移動に際して問題が生じていると感じる。第2クルーズバスでも臨時的な路線バスの運行等も考えられる。関係部局との調整を踏まえて移動手段の確保に努めてほしい 全てのバス停にデジタルサイネージを設置することは現実的ではない。実現可能性を考慮すると、ゆいレールの駅周辺等、一定の交通結節点での対応に留めた方が良いのではないか パークアンドライドは、国内における成功事例が少ないと認識であり、ゆいレールの終点である「てだこ浦西駅」で実施している現状を調査したうえで将来的な実施計画を検討してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 「空港・港から市街地への円滑かつ最適な移動手段の充実化及び快適な移動に向けた景観づくり」は、臨時バスの運行等の各交通事業者との連携を意識した記載を検討する デジタルサイネージは「主要な停留所」との記載に更新する パークアンドライドは、沖縄県・那覇市では一定の取組が図られている経緯があり、国際通りの周辺にある駐車場に車を誘導し、混雑の原因となる地点は歩行を優先する取組が見られる。当該取組が強化される方向性で落とし込みたいと考えており、フリンジパーキング等の那覇市で実際に実施されている取組に即した文言に更新する 	慶田 委員	要
4	取組の柱1	<ul style="list-style-type: none"> 平時の危機管理では防犯が重要な観点と考える。コロナ禍からの脱却による新たな課題として、那覇市では令和5年度に犯罪数が1.5倍に増加したデータもあり、観光客が被害者となる事案や観光関連事業者の人手不足に伴う犯罪が多数発生している。那覇市の治安維持を含めた防犯の観点を組み込むことで、「誰もが安全・安心」を実現できるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症や災害等に備えた対応強化では、非常時対応に焦点を当てるべきと考えている 本論点である防犯については、同じく基本施策（エ）の取組概要を新設し、「観光における安全性確保や迷惑防止に対する対応強化」に関する内容を記載する 	石坂 委員	要

第1回観光審議会（7/5）で受領した意見・質問に対して、 以下の対応方針（案）を検討しております

指摘事項（2/4）

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	追加 対応の 要否
5	取組の柱1	・ まち歩きを楽しめる、安心かつ魅力的な歩道空間・景観づくりとして移動手段が歩行者と自動車に限定されており、シェアサイクルやキックボード等も移動手段に該当するのではないか	▶ <u>計画内にフリンジパーキングやシェアサイクル等の「多様な移動手段」を追加</u> するとともに、まち歩きは那覇市の関係部局が注力している施策であるため記載は残す	目島委員	要
6	取組の柱1	・ MICEの誘致・実施だけではなく、アフターMICEが那覇市の強みであり重要な観点である。アフターMICEにおける消費額向上を見据えた記載が必要ではないか	▶ <u>那覇市都市型MICE振興戦略と整合を図りつつ、アフターMICEに関する記載を追加</u> する	目島委員	要
7	取組の柱1	・ 「誰もが楽しめる」は「選ばれ続ける観光地」である必要があると考える。特にインバウンドは脱炭素やカーボンニュートラル等の環境に関する取組に注目している傾向があるため、計画内に反映できるとよい	▶ 取組の柱3の基本施策(ウ)において、サステナブルツーリズムやエコツーリズムの推進に関して記載しているため、追加の記載はしない	目島委員	否
8	取組の柱2	・ 「那覇ならでは」を検討するにあたり、波の上ビーチ等の都市型ビーチは必ず組み込むべき ・ 計画内でもより自然資源の要素を組み込むべきであり、波の上ビーチに関するコンテンツの磨き上げ・強化を記載してもよい	▶ 指摘の内容を踏まえて、 <u>基本施策(ア)に波の上ビーチ等の利活用に関する記載を追加</u> する	名嘉元委員	要
9	取組の柱2	・ 歴史資源や自然資源等観光資源の保全及び継承の中にユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取組を進めている琉球料理も組み込んでほしい	▶ 基本施策(ア)において、琉球料理という具体的な文言を追記する	与那委員	要
10	取組の柱3,4	・ 語学や“うとういむち（おもてなし）”等のスキルアップ講座は、講座の対象を明確に分けて記載すべき	▶ 取組の柱3,4で <u>スキルアップ講座の対象を観光関連事業者と市民で分けて記載</u> する	與座委員	要
11	取組の柱3	・ 観光産業の雇用確保に向けた支援として、外国人材に特定している印象がある。外国人材以外も対象となる場合はその旨が伝わる記載が望ましい ・ 県内の学生や中途人材に加えて、UターンやIターン等も雇用確保の対象として検討した方がよい	▶ 指摘を踏まえて、基本施策(ア)における雇用の確保に向けた支援は「 <u>外国人材やUターン・Iターン等の多様な人材の確保</u> 」等の最適内容へ更新する	與座委員	要

第1回観光審議会（7/5）で受領した意見・質問に対して、 以下の対応方針（案）を検討しております

指摘事項（3/4）

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	追加 対応の 要否
12	取組の柱3	・ 観光産業の発展を見据え、現状の環境改善に加えて、観光産業の魅力や就労意欲の向上による地位向上も組み込めるとよい	▶ 取組概要ではなく、 <u>基本施策(ア)の中で「若者にとって魅力があり、就業したいと思われる観光産業を目指す」旨を記載</u> する	目島委員	要
13	取組の柱3,4	・ 小中高大における観光教育の推進が重要視されており、海外では近年より学校交流も求められている。幼少期から観光や旅行への興味関心を醸成することが必要と考える。	▶ 観光教育は取組の柱3の基本施策(ア)で記載しているため、当該箇所を「 <u>小学校から大学</u> 」までを対象としたものに更新する	目島委員	要
14	取組の柱3	・ 観光基本計画では観光客の受入に向けて那覇市が推進する事項を記載しているが、市民の観光客化にも目を向ける必要があるのではないかと	▶ 取組の柱4の基本施策(ウ)において、「 <u>市民が那覇市の魅力を知る</u> 」といった旨の内容を追記する	目島委員	要
15	取組の柱3	・ 事業者への啓発活動に限らず、事業支援の在り方まで併せて検討してほしい	▶ 行政が直接的な賃金アップに繋がる取組を支援することは難しいため、誤解を与えないように「 <u>労働環境の改善</u> 」と記載する形で更新する	石坂委員	要
16	取組の柱3	・ 観光事業者のデジタル技術やICT技術導入の支援でDX推進人材の雇用・育成も見据えている場合は、想起しやすい書きぶりとしてほしい。	▶ デジタル技術の導入は、指摘の通り、 <u>国や県の支援内容の周知に係る取組も補足文内で記載</u> する。	上原委員	要
17	取組の柱3	・ 観光事業者向けのオープンデータは、公開のみだと利活用に繋がらないと考える。データの活用方法に係る教育等の利活用促進に向けた取組も公開と同程度に重要ではないかと	▶ データの活用方法に係る教育は実施団体も併せて検討する必要があると理解しており、「 <u>観光関連事業者の理解促進に向けた取組を推進する</u> 」とのレベルの内容を記載する	上原委員	要
18	取組の柱3	・ 域内調達率の向上にあたっては市場の活用も考慮してほしい	▶ 域内調達率は指摘の内容を踏まえて、 <u>説明文の中で「第一牧志公設市場や泊いゆまち等の活用」との記載を落とし込む</u>	与那委員	要
19	取組の柱3	・ 飲食業は慢性的な人材不足であり、人材雇用以前に住居の確保が大きな問題となっている。雇用確保に向けた取組の一環として住居の確保も組み込めるとよい	▶ 雇用後の暮らしをサポートすることは長期的就労促進に向けて重要な論点と理解しており、「 <u>採用活動支援</u> 」が伝わる記載とする	目島委員	要

第1回観光審議会（7/5）で受領した意見・質問に対して、 以下の対応方針（案）を検討しております

指摘事項（4/4）

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	追加 対応の 要否
20	KGI・KPI	<ul style="list-style-type: none"> 現在の職場で働き続けたいと思う観光関連事業従事者の割合というKGIは、業界は好きだが職場が嫌なために転職したいと考える人が一定数いる認識であり、観光関連事業への定着度が測り難い印象を持つ また、各ステークホルダーの意見交換の年間実施回数はKPIとして弱い。意見交換を踏まえてどれだけ課題を抽出したかが重要であり、その部分まで落とし込む必要があるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 指摘を踏まえて、<u>KGIは「今後も観光産業に従事し続けたいと思う観光関連事業者の割合」に変更する</u> ▶ <u>KPIは「市外ステークホルダー（国・県・他市町村等）との連携事業件数」に変更する</u>。なお、市内の観光関連事業者等との連携は他の基本施策内で多く対応しているため、KPIでは設定しない 	與座委員	要
21	KGI・KPI	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に地域貢献に取り組む事業者の割合は、具体的な地域貢献を定義しなければ取得しづらいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業者アンケート調査等を通じて該当する取組を示す想定である 	久高委員	否
22	KGI・KPI	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で初期値を取得できていない指標はどのように目標値を設定するのか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 基本的に初期値が分かった時点で目標値を記載することを想定している 中間見直しの5年目を待たずして、現状値を把握できた段階で計画を一部更新することを検討する 	與座委員	否
23	推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 推進体制図や役割分担図の中に国や県も入れ込んでほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ <u>推進体制図に国と県を追加する形で対応する</u> なお、役割分担表は取組の内容と記載内容が重複するため、削除とする 	慶田委員	要
24	推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会の役割について、観光計画内で「求められる」との記載は義務化の印象を持ったため、避けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ <u>観光協会の役割については、義務化の印象を与えないように「～に努めます」という記載に更新する</u> 	名嘉元委員	要

第1回観光審議会（意見シート）での指摘事項

第1回観光審議会後の意見シートで受領した意見・質問に対して、 以下の対応方針（案）を検討しております

越智委員の指摘事項（1/2）

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	追加 対応の 要否
1	取組の柱1	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策(イ)について、那覇市を「沖縄のゲートウェイ」と位置づけているのであれば、那覇市内の周遊だけでなく本島全体への周遊についても視野に入れてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策(イ)を「那覇市内外の周遊促進」と変更し、取組概要に関しても周辺地域への周遊を促すような観点を含めて検討する 	越智委員	要
2	取組の柱2	<ul style="list-style-type: none"> 既存の資源・価値・文化の活用と継承を強調しているのは良いが、「コンテンツ造成」を謳いながら、新たな資源・価値・文化を創造することの観点が欠落している。この創造の継続も持続可能性を実現するうえで不可欠だと考えられるので、重視してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の資源・価値・文化の活用・磨き上げにフォーカスしている経緯があるものの、新規資源・価値・文化の創造も記載しており、現状の記載とする 	越智委員	否
3	取組の柱2	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策(ウ)の取組概要について、「...の普及・学びの機会の創出」とあるが、KPIから察するとこれは観光客向けではなく市民向であると考えるため、その旨を明記すべきである 他方で「...の普及・学びの機会の創出」は本来、観光客に向けても重要である 	<ul style="list-style-type: none"> 本計画では、まず市民の理解醸成に向けて取り組むことにフォーカスした経緯がある。他方で、今後一切観光客向けの学びの機会を提供しないというわけではないため、取組概要に「観光客」も対象として取り入れる 	越智委員	要
4	取組の柱3	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策(ウ)の取組概要（特に3点目）は良いが、基本施策との適合を考えれば、地域主導で新たな観光資源・コンテンツの創出支援、といった内容も入れられるとさらに良い 記載箇所は取組の柱4基本施策(イ)と検討してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 指摘の内容を踏まえて、「地域主導で新たな観光資源・コンテンツの創出支援」に係る内容を取組の柱3の基本施策(ウ)で追加する 	越智委員	要
5	取組の柱4	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策(イ)の取組概要「...意見の吸い上げ」について、意見を吸い上げるだけで基本施策の達成が図れるとは言えないため、最低限、5年目の中間見直し時に参考・反映するということは明記すべきである 基本施策(ウ)の取組概要「...意向の調査」についても同様である 	<ul style="list-style-type: none"> 指摘の内容を踏まえて、基本施策(イ)の取組概要（1点目）を「意見の吸い上げ及び施策への反映」と変更し、説明文にも意見を施策へ反映する旨を追記する 指摘の内容を踏まえて、基本施策(ウ)の取組概要（2点目）を「意向調査及び施策への反映」と変更し、説明文にも意見を施策へ反映する旨を追記する 	越智委員	要

第1回観光審議会後の意見シートで受領した意見・質問に対して、 以下の対応方針（案）を検討しております

越智委員の指摘事項（2/2）

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	追加 対応の 要否
6	KGI・KPI	<ul style="list-style-type: none"> 2.基本施策(ア)のKPIとして「那覇市内で体験コンテンツを体験した観光客の割合」とあるが、体験コンテンツは「那覇ならではの」ものに限定しないと、基本施策と適合しない。「那覇ならではの」とはどのようなものか、上述のことも踏まえつつ追求してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 「那覇ならではの」体験コンテンツは整理しにくいので、那覇市内に限定したコンテンツをアンケートの選択肢として設けたうえで、KPIを「那覇市内で体験コンテンツを体験した観光客の割合」と修正する 	越智委員	要
7	KGI・KPI	<ul style="list-style-type: none"> 2.基本施策(ウ)のKPIについて、市民と併せて「観光客の割合」も必要なデータであり、追加してほしい 数値が大きくなることは、観光客にも資源の価値が共有されたことを意味し、観光による資源保全・継承への効果を示すものともなり得る 	<ul style="list-style-type: none"> 指摘内容を踏まえて、取組の概要および評価対象を改めて検討し、本基本施策のKPIは実施主体に紐づく指標とすべきであると判断し、「歴史文化・自然資源の保全・継承に寄与する関連活動に取り組む観光関連事業者の割合」と整理する 	越智委員	要
8	KGI・KPI	<ul style="list-style-type: none"> 4.(ウ)のKPIについて、「調和」を図るのであれば、「メリット」を感じる市民の割合だけでなく「デメリット」を感じる市民の割合も同時に必要である 	<ul style="list-style-type: none"> 指摘の内容を踏まえて、KPIに「市民の観光振興によって市にデメリットがあると感じる市民の割合」を追加する 	越智委員	要
9	推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 図表「取組推進における役割分担」について、これは「役割」とは何か明確でなければ意味のない図になっているため、修正してほしい。例えば4.(ア)では「市民」、4.(イ)では、「事業者」と「学術機関」には役割が求められないということか 「役割」に関して示すべきことがあるとしたら、各ステークホルダーの役割の所在ではなく、何をすべきかなのではないか 他に示すべきことがあるとしたら、市内所管課、観光協会、県・国との役割分担についてだが、諸施策との調整のもと庁内で適宜整理できていれば、計画内での明記は不要である 	<ul style="list-style-type: none"> 計画内で記載すべき役割分担は各施策ごとのページに「実施主体」として記載しているため、「実施主体」に追加で国・県や市民を整理し、第5章内の役割分担の表は削除する 	越智委員	要
10	観光ゾーニング	<ul style="list-style-type: none"> 観光ゾーニングについて、これは何か都市計画など事前の施策に基づいているか 特にクニダをこのようにゾーニングするのは、様々なステークホルダーとの調整はついているか また逆に、クニダをこのように位置づけるなら、他にもこのように位置づけてほしいという意見のある場所もあるのではないかと思います。他の場所をゾーン化する可能性も検討したうえでクニダが選んだのか 	<ul style="list-style-type: none"> 前提として現行計画に基づいて作成しているため、既にステークホルダーには認識されているゾーンであり、再度確認する必要性はないものと認識している 他方で、指摘事項を踏まえて、追加のゾーニングの必要性については各ステークホルダーに適宜意見をもらい、必要に応じて中間見直し等で再検討する 	越智委員	否

第1回観光審議会後の意見シートで受領した意見・質問に対して、 以下の対応方針（案）を検討しております

山田委員の指摘事項

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	発言者	追加 対応の 要否
1	全体	・「本計画」と「本観光振興計画」が混在しており、統一してほしい	▶ ・ 計画内で、「 <u>本計画</u> 」の文言で統一する	山田 委員	要
2	全体	・ 新型コロナウイルス→新型コロナウイルス感染症（正式名称）に修正してほしい	▶ ・ 冒頭のみ正式名称の「 <u>新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」といいます。）</u> 」に修正し、以降の文言を「コロナ」で統一する	山田 委員	要
3	取組の柱1	・ 基本施策(ウ)が取組の柱1の基本施策として結びつかない印象であるため、理由を明記してほしい ・ また、何の機能を強化するのか、目的語を入れてほしい	▶ ・ 基本施策(ウ)が <u>国際的な観光交流都市としての受入機能強化を図ることを目的にしている旨、記載</u> する	山田 委員	要
4	目指す将来像	・ リード文において、本計画は・・・「改定する」と記載されておりますが、「策定する」に修正してほしい	▶ ・ 第2次観光計画であるため、「改定」でよい	山田 委員	否
5	取組の柱と核とする観点・推進力	・ 「核とする観点・推進力」の意味を説明文で補足してほしい	▶ ・ 指摘の内容を踏まえて、「 <u>核とする観点・推進力</u> 」の意味に関する記載を追加する	山田 委員	要
6	取組の柱と核とする観点・推進力	・ （2）の推進力1 3行目最後から4行目の文章は、推進力3と重複している	▶ ・ 指摘の内容を踏まえて、「核とする観点・推進力1」の最後の1文を削除する	山田 委員	要
7	取組の柱と核とする観点・推進力	・ （2）の推進力2 デジタル技術の利活用の効果について、「観光客の利便性向上」だけではなく、事業の効率化等にも言及してほしい	▶ ・ 指摘の内容を踏まえて、 <u>事業の効率化に関する記載を追加</u> する	山田 委員	要